

ハンガーゼロ自販機100台設置

宝塚・栄光教会にキリン機



支援自販機と関係者。左から4人目が岩間牧師。取り組み。設置されたのはキリンビバレッジパン・アキモトの自販機。同協会の岩間洋牧師は「ちようど100台目は名誉なこと。自販機を利用していただくことで、飢餓の問題の理解や協力を地域の

兵庫県宝塚市の宝塚栄光教会に、全国100台目となるハンガー・ゼロ支援自動販売機が設置された。同自販機は売上

本につきおよそ10円が飢餓に苦しむアフリカ諸国を支援する活動「ハンガー・ゼロ」を通じて活用される。岩間牧師は「この活動は、2011年から取り組んでいる活動。キリンビバレッジとパンの缶詰を製造する栃木県のパンメーカー「パン・アキモト」が2013年から参画し、2013年6月にパン・アキモト本社前に1台目の支援自販機が設置された。現

0mlボトルを96個(本)ずつ提供し、緊急災害時の無償利用や、2年毎にキリンビバレッジが入れ替えて、入れ替えた分をアフリカや福島第一原発事故被災者支援に役立てるなどの活動も行っている。

「ハンガーゼロ支援自販機」

全国で100台目設置

キリンビバ

キリンビバレッジパン・アキモト(株)近畿圏支社(竹田光昭支社長)は、自動販売機の売上の一部を飢餓と貧困に苦しむアフリカの人々を助ける「ハンガーゼロ・アフリカ」の動きに用いるハンガーゼロ支援自販機の全国で100台目を12月5日(月)に宝塚栄光教会(兵庫県宝塚市)に設置した。

ハンガーゼロ支援自販機は、一般財団法人日本国際飢餓対策機構が2011年から始めた取り組みで、自動販売機の売上の一部が、飢餓に苦しむ国々への国際協力の活動に活用されている。2013年からは(株)パン・アキモトとキリンビバレッジ(株)が取り組みに参画し、寄付機能に加え、自動販売機設置と同時に、

備蓄用として3年間の長期保存ができるパンの缶詰と水330mlボトルを設置先へ提供し、緊急災害時には設置者が無償で利用できる。2013年6月にパン・アキモト本社前に1台目

2016年12月8日
食糧経済

2017年1月
醸~かもす~
1月号

各種新聞記事に
弊社のハンガーゼロ自販機
について紹介されました!

2016年12月19日
フード・ウィークリー



自販機で飢餓対策を支援

キリンビバ 宝塚に100台目設置

キリンビバレッジパン・アキモト(株)近畿圏支社は12月5日、全国で100台目となる「ハンガーゼロ支援自販機」を宝塚栄光教会(兵庫県宝塚市)に設置した。

「ハンガーゼロ支援自販機」とは一般財団法人日本国際飢餓対策機構が2011年から始めた取り組みで、自動販売機の売上の一部が飢餓に苦しむ国々への国際協力活動に活用される。2013

年からは(株)パン・アキモトとキリンビバレッジ(株)が取り組みに参画し、寄付機能に加え、自動販売機設置と同時に、

長期保存ができるパン・アキモトの缶詰入りパンと水330mlボトルを設置先へ提供し、緊急災害時には設置者が無償で利用できる。2013年6月にパン・アキモト本社前に1台目